

HbA1c の表記が変わります！！！！

糖尿病瓦版

糖尿病の治療。それは血糖値を上手にコントロールすること！

一瞬一瞬の血糖値を管理することも重要ですが、長期的な管理も重要になります。そのため測定するのが HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）です。HbA1c を測ることで過去 1～2 か月の平均血糖値を知ることができます。

**当院ではこの HbA1c を、
HbA1c(JDS)と表記していたのをご存じですか？**

この JDS 値は、Japan Diabetes Society：日本糖尿病学会値とよばれています。JDS 値は日本中どの病院でも通用する検査値ですが、海外と比べると数値が少しずれていることがわかってきました。

そこで、海外でも通用する NGSP 値、National Glycohemoglobin Standardization Program：国際標準値に変更することになりました。

そしてこの度、H24 年 4 月より、当院でも国際標準値を使用することになりました。国際標準値は HbA1c(NGSP)と表記され、しばらくの間は、下記のように、JDS 値と NGSP 値、両方を併記することになりました。

表記例	HbA1c(JDS)	6.5%
	HbA1c(NGSP)	6.9%

4月からは
こちらでコントロール！！

JDS 値と NGSP 値は次のような関係です。

- HbA1c(JDS)4.9%以下 ⇒ HbA1c(NGSP)=JDS 値+0.3%
- HbA1c(JDS)5.0~9.9% ⇒ HbA1c(NGSP)=JDS 値+0.4%
- HbA1c(JDS)10.0%以上 ⇒ HbA1c(NGSP)=JDS 値+0.5%

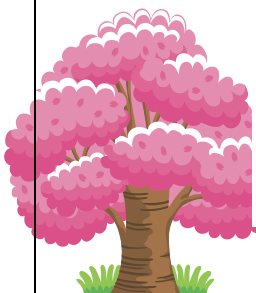
今後、当院では NGSP 値を基に結果説明及び指導を行っていきますので御理解ください。

血糖管理の指標と評価

※日本糖尿病学会編：糖尿病治療ガイド2010より引用改変

指標	優	良	可		不可
			不十分	不良	
HbA1c(NGSP)(%)	6.2未満	6.2~6.9未満	6.9~7.4未満	7.4~8.4未満	8.4以上
HbA1c(JDS)(%)	5.8未満	5.8~6.5未満	6.5~7.0未満	7.0~8.0未満	8.0以上

+0.4%
シフト



次回は理学療法士からのお話です。

平成二十四年四月版（隔月発行）
春日井市民病院
糖尿病療養指導グループ発行

臨床検査技師
大竹・後藤・加藤